

3年生 <社会科>

現在の分析

<知識及び技能>

- ・ 地図や資料等から必要な情報を集め、読み取る力を育成する指導を行った。
- ・ 学校周辺の身近な地域や大田区内の他地域の様子を白地図にまとめた。地域の様子は場所によって違いがあることをほぼ理解できた。
- ・ 地図記号は、ほぼ理解しているが、継続した指導が必要である。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・ 社会科見学や大田区の様子をまとめ、土地利用の様子を地形的・社会的な条件と関連付けて考えた。また地域の様子は場所によって違いがあることに気付く学習を行った。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・ 身近な地域や大田区について、予想や学習計画を立て、主体的に学習問題を追究し解決しようとしていた。

重点課題

<知識及び技能>

- ・ 見学、調べ学習等に意欲的に取り組むが、資料の読み取りを苦手とする児童がいる。
- ・ 地図記号や方位の知識をもとに、複数の資料を組み合わせて考える。
- ・ 資料から分かることを選ぶ問題に対しての誤答が多いため、問われていることが何か把握する力を付ける。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・ 絵地図や写真など複数の資料から読み取ったり、組み合わせたりして、判断する。
- ・ 地図記号や方位などの知識は定着しているが、複数の知識を結び付けて考える。
- ・ 社会的な事象は把握できるが、地形的な条件や社会的な条件、自分たちの生活と関連付けて考えるまでには至らないことがある。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・ よりよい社会について考え、学習した知識を社会生活に生かそうとする態度を身に付ける。

授業改善策

<知識及び技能>

- ・ 視聴覚教材や図書館資料を活用し、学習内容に関する理解を図り、課題に関する関心を高める。
- ・ 明確な課題をもち、それぞれの調べ方の特徴を踏まえ、多様な方法で調べる機会を増やす。
- ・ 体験的な学習や施設見学の機会を多く設定し学習意欲を高める工夫をする。また、上記の活動を通して社会的な事象を自分たちの生活と密接に関わる課題としてとらえるようにする。
- ・ 他教科と関連を図り、表やグラフを見るポイント（表題・単位や数値・全体の特徴など）を示し、情報を正しく読み取る活動を継続して取り入れる。
- ・ 資料から読み取ったことを箇条書きにして表したり、意見を交流したりすることを通して、多様な見方・考え方を知ることができるようにする。
- ・ 地図や地図記号に関わる指導を継続して行い、地図記号や方位の知識の定着を図る。
- ・ 時期の区分として「明治・大正・昭和・平成・令和」という元号を用いた表し方があることを取り上げる。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・ 調べ学習時に視点を明確にし、分かったことや事実を関連付けて説明できるようにする。
- ・ 意見交流を通して、多様な見方・考え方があることに気付き、考えを広げ、深める機会を設ける。
- ・ キーワードを活用して、学習の振り返りを行い、自分で考えを整理したり、表現したりする機会を増やす。
- ・ 単元のまとめに新聞やパンフレット、ポスターを作成する活動を取り入れる。その際、資料選択時の根拠と表現した文章がかみ合っているか見直す場面を取り入れる。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・ 身近な問題について、主体的に学習問題を追及し解決できるように資料を工夫し、予想や学習計画を立てられるようにする。
- ・ 郷土博物館や学校図書館などの身近な学習環境を生かして、知識を広めるよう促す。
- ・ 単元のまとめに新聞やパンフレットを作成する活動を通して、身近な社会生活に生かそうとする態度を身に付けられるようにする。

4年生 <社会科>

「大田区学習効果測定」結果の分析

今年度の校内における平均正答率は、目標値を7.6ポイント上回った。基礎的な内容では、7.9ポイント、活用では、7ポイント上回っている。

- 「店ではたらく人」では、正答率が90%を超えている項目が多く、スーパーマーケットで働く人の仕事について理解できている児童が多くいた。
- 「安全な暮らし-火事-」では、選択式の設問については正答率が高かったが、理由を答える設問では、目標値を下回った。読み取ったことを、端的に書き表すことに苦手意識をもつ児童が多くいた。
- 「安全な暮らし-事故や事件-」の記述問題においても、目標値を下回る結果となった。資料の重要な部分に着目し、捉え、表現することが難しい児童が多くいた。

重点課題

<知識及び技能>

- ・複数の資料を組み合わせて、情報を正確に読み取ること。
- ・資料を活用し、図表にまとめるなどして、一つ一つの知識を関連させ理解すること。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・資料から読み取ったことを根拠として、自分の考えをもつこと。
- ・写真やグラフなど複数の資料から読み取ったことを組み合わせて、判断すること。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・調べ学習において、いろいろな方法で調べようとする意欲はあるが、必要な情報を精査し、要約したり、複数の情報から特徴を考えたりすること。
- ・学習したことから、毎日の生活の中で継続的に実践していく態度を育てること。

授業改善策

<知識及び技能>

- ・表やグラフを見るポイント（表題・単位や数値・全体の特徴など）を示し、継続的にグラフを読み取る活動を取り入れる。
- ・児童に気付かせたい、捉えさせたいねらいにあったグラフや写真などの資料を選定し授業に活用する。
- ・資料から分かったこと気付いたことなどを箇条書きにし、友達と意見を交流する機会を設定する。
- ・地図帳を活用し地図や地図記号に関わる指導を継続して行い、地図記号や方位、都道府県名等の知識の定着を図る。また、地図帳の上を旅するなど、楽しみながら知識が定着するような活動も取り入れる。
- ・身につけさせたい社会科用語を提示し、意味を指導する。その用語について説明あるいは、その用語を用いて学習のまとめを行う活動を日常化とし、知識の定着を図る。
- ・スキルアップタイムを使って、ドリルパークなどのタブレット学習やプリント学習に取り組む時間を作ったり、視聴覚教材を使用したりして、社会科用語などについての知識の定着を図る。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・児童の生活体験や既習事項との関連から考える活動を繰り返し行い、考えを出し合う活動を通して、整理・広める・深める機会を設定する。
- ・単元のまとめに「自分たちにできること」のように自分の生活との関わりを意識して捉え、自分の考えや友達と話し合ったことなどをノートに書き表す活動を取り入れ、社会との繋がりを意識・表現できるようにする。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・調べ学習において、それぞれの調べ方の特徴を踏まえて、多様な方法で調べる機会を増やす。
- ・上記の活動を通して、社会的な事象を自分たちの生活と密接にかかわる課題として捉える。そして、自分にできることを生活の中で実践していこうとする態度を育てる。

5年生 <社会科>

「大田区学習効果測定」結果の分析

全国正答率よりも1.9ポイント上回った。前年比では、5.3ポイント下回った。全般にほとんどの観点において目標値を上回っている。

- 資料から必要な情報を読み取る問題においては、ほとんどの問題で5ポイント以上目標値を上回った。
- 「知識及び技能」の観点では、多くの項目で目標値よりも5ポイント以上上回った。
- 「思考・判断・表現」の観点では、半分以上の項目で目標値を下回った。
- 「くらしをささえる水」の記述問題においては、資料に着目・捉え・表現することが難しく、目標値に比べ、5ポイント以上下回る結果となった。

重点課題

<知識及び技能>

- ・問題内容への理解を深めること。
- ・基礎知識や言葉の理解。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・資料に着目・捉え・判断すること。
- ・それぞれの事象に対して理由を表現すること。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・調べ学習において、いろいろな方法で調べ、特徴を考えること。
- ・学習したことから、毎日の生活の中で継続的に実践していく態度を育てること。

授業改善策

<知識及び技能>

- ・表やグラフを見るポイント（表題・単位や数値・全体の特徴など）を示し、継続的にグラフを読み取る活動を取り入れる。
- ・児童に気付かせたい、捉えさせたいねらいにあったグラフや写真などの資料を選定し授業に活用する。
- ・資料から分かったこと気付いたことなどを箇条書きにし、友達と意見を交流する機会を設定する。
- ・身につけさせたい社会科用語を提示し、意味を指導する。その用語について説明あるいは、その用語を用いて学習のまとめを行う活動を日常化とし、知識の定着を図る。
- ・スキルアップタイムを使って、ドリルパークなどのタブレット学習やプリント学習に取り組む時間を作ったり、視聴覚教材を使用したりして、社会科用語などについての知識の定着を図る。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・児童の生活体験や既習事項との関連から考える活動を繰り返し行い、考えを出し合う活動を通して、整理・広める・深める機会を設定する。
- ・単元のまとめに「自分たちにできること」のように自分の生活との関わりを意識して捉え、自分の考えや友達と話し合ったことなどをノートに書き表す活動を取り入れ、社会との繋がりを意識・表現できるようにする。
- ・ノートやタブレット端末を活用して、自分の考えを表現する機会をつくる。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・調べ学習において、それぞれの調べ方の特徴を踏まえて、多様な方法で調べる機会を増やす。
- ・体験的な学習や施設見学の機会を多く設定して、学習意欲を高める工夫をする。また、上記の活動を通して、社会的な事象を自分たちの生活と密接にかかわる課題として捉える。そして、自分にできることを生活の中で実践していこうとする態度を育てる。

6年生 〈社会科〉

「大田区学習効果測定」結果の分析

- ・今年度の本校における平均正答率は、目標値を上回る結果となった。その内訳を見てみると基礎については区で10.3ポイント、全国で7.1ポイント上回り、活用については区で10.5ポイント、全国で5.5ポイント上回った。
- ・ほぼすべての項目で、区と全国の平均正答率を上回ったが、「情報を生かした産業」と「自然環境と国民生活」に課題が見られた。

重点課題

〈知識及び技能〉

- ・「自然環境と国民生活」では、森林の役割と保全の大切さについて、自分たちの生活と結び付けて考えることが難しい。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・「情報を生かした産業」では、資料に着目して、コンビニエンスストアや、スーパーマーケットで活用しているポイントカードの情報について捉え、判断することに課題がある。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・自主的に取り組む態度に個人差があり、「日本の農業」「自然環境と国民生活」など、部分的なところで自分たちの生活と結び付きにくいものには関心がもてず、学習意欲も低い。

授業改善策

〈知識及び技能〉

- ・授業の中で、意図的に地図・年表、グラフや表等の資料の読み取り作業を取り入れ、読み取るシーケンスを意識させて、理解を深められるようにする。
- ・資料から読み取ったことを、課題に沿って年表や白地図、関係図に整理して新聞やノートにまとめる活動を取り入れる。
- ・単元のまとめごとにノートや資料を見返し、新聞にまとめるなどして理解の定着を図る。
- ・ワークシートで理解すべき内容をおさえたり、調べたことを発表する活動を設けたりして、知識や理解の確実な定着を図る。
- ・身に付けさせたい社会科用語を用いて、学習のまとめを行う活動を日常化し、知識の定着を図る。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・調べたことの要点や意味をまとめたり、自分の考えを明確にしたりする学習を繰り返し行うことで、表現する力を高める。

〈学びに向かう力・人間性等〉

- ・新聞資料を活用しながら時事的な話題を取り上げて興味関心を高め、日本の産業、歴史や政治、文化を身近に感じられるようにする。